冬ごもり

窓の外の何か白く光り消えた
音ひとつ聞こえない　人の声も

部屋の片隅にある　青く光り瞬く
WiFi のあかりが　ひとしきり

湯気立つカップ
両手で添える　mm
組む足動かし
落ちそうな膝掛け
またくるまり直す

目の前　激しい
映像　音響
小さな　楽しみ
春待つ　冬ごもりで

窓の外に何か白く舞って消えた
緩やかに流れゆく午後の時間

テーブルの上にある雑誌のページめくる
内なる世界の旅　身を委ね

着信の音
小刻みな振動　mm
手を伸ばし立ち上がり
落ちそうな膝掛け
またくるまり直す

孤独な　ことでなく
画面越し　語らい
小さな　楽しみ
春待つ　冬ごもりで